

# CCRD NEWS

## Vol.7

### February 2015

CONTENTS

- トピックス ●ご挨拶
- 地共センターと知財センターの統合・改組
- 新任スタッフの挨拶
- 地域共生研究開発センター・スタッフ
- イベント情報

<トピックス>

地域共生研究開発センターと知的財産センターを統合・改組しました。本号は、新体制の紹介特集です。

ご挨拶



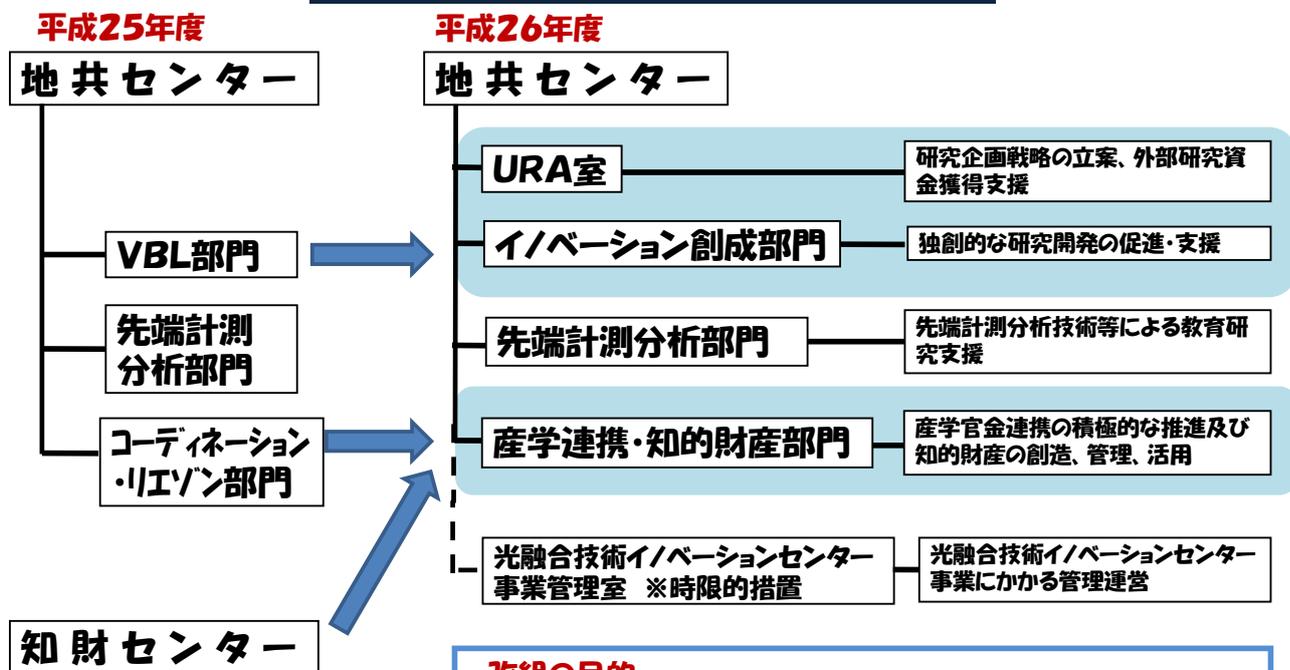
宇都宮大学  
地域共生研究開発センター  
センター長  
すずき のぼる  
鈴木 昇

常日頃から宇都宮大学地域共生研究開発センターの諸活動に御支援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。本センターは、研究成果を広く学外に発信するとともに、産学官金連携を推進し、地域社会の活性化に貢献することを目的としていますが、今後のさらなる発展を目指して、今年度（2014年4月）以下のように大きな改革を実施しました。

- (1) 知的財産センターと合体することで、コーディネーション・リエゾン部門が、産学連携・知的財産部門となり、学内研究成果の活用を迅速に展開することを可能としました。
- (2) 大学の研究成果の実用化を推進し産学官金連携を達成するため大学院 VBL 部門をイノベーション創成部門 (CDI) に変革し、イノベーションが創出し易い体制にしました。
- (3) 大学も競争化が叫ばれており、研究活動の活性化や外部研究資金の獲得増大を目指して、University Research Administrator 室 (URA 室) を新たに設置しました。

なお、先端計測分析部門は変わりませんが、さらなる地域貢献を目指しております。さて、昨年度の大学の地域貢献度ランキング(日経グローバル調査)が2014年11月に発表され、宇都宮大学は3位(昨年まで3年連続2位)となりました(この9年で6回3位以内)。当センターの業務量は毎年増加しておりますが、ランキング1位(2006年度実績)を奪還するためにも地域との連携を強め、真の地域共生を目指して、各部門長および教職員が日々努力して参ります。今後ともさらなる御支援を賜りますようお願い申し上げます。

地共センターと知財センターの統合・改組



改組の目的

- ・両センターの一体的活動体制を確立・強化し、知財活用に基づく産学官連携活動を強力に推進する。
- ・センターにおける先端かつ独創的な研究を一層推進する。
- ・URA配置による研究支援体制の強化を図る。

<新任スタッフのあいさつ>



宇都宮大学  
教授  
地域共生研究開発センター 副センター長  
イノベーション創成部門 部門長  
たかやま よしまさ  
高山 善匡

平成26年4月1日、地域共生研究開発センターの新部門として、イノベーション創成部門 (Creative Department for Innovation; CDI) が設置されました。イノベーション創成部門は、大学のシーズを生かし産業界のニーズに応える産学官金連携を達成するためにイノベーション創出を目指した事業を実施致します。そのために、イノベーション創出の種となる学内の研究成果あるいはその前段階となる将来性発展性を備えた研究計画への積極的な支援を行いたいと考えております。本部門は、先端研究推進、異分野融合研究推進、インキュベーション推進の3つの事業を柱とします。これらの事業を推進するため、さまざまな分野の研究開発プロジェクトを進めております。また、若手研究員による重点プロジェクトの推進、若手研究者の海外派遣、外国人研究者の招聘、大学院学生研究開発の支援等、各種事業の実施を計画しております。

イノベーション創成部門は、本学の独創的創造的な研究開発を支援し、革新的な事業に繋げる活動を推進してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



宇都宮大学  
研究協力・産学連携課長  
さの まもる  
佐野 護

4月に研究協力・産学連携課長に着任いたしました佐野です。これまで文部科学省・北海道大学・東京工業大学・お茶の水女子大学等で産学連携や研究推進などを経験して参りました。

地域における知の拠点として、また、地域活性化の中核拠点を目指す国立大学として果たすべき役割はますます重要なものとなっておりますが、本学ではいち早くそうした社会の動きに魁け、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーとし、「豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ」をキャッチフレーズにして、大学を挙げて社会貢献を推進してまいりました。

この実現に向け、地域共生研究開発センターは、産学連携を通じて、大学の知を活用した地域の課題解決に取り組んでおりますが、研究協力・産学連携課は産学連携を推進する事務部門として、地域共生研究開発センターと一体となり、諸事業に取り組んでまいります。

皆様のご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



宇都宮大学  
地域共生研究開発センター URA 室副室長  
あゐ しょうへい  
桑江 良昇

本学の研究力の一層の向上には、外部研究費の獲得が不可欠です。

URA室は外部研究費獲得の支援のため、平成26年4月1日に地域共生研究開発センター内に設置されました。鈴木昇URA室長（兼任）を含めて延べ9名の室員がおります。うち木村URAおよび大島URAが専任です。URAはリサーチ・アドミニストレーターを意味し、その機能を一言で言いますと、「国等の外部研究費を獲得したい教員を強力に支援する研究支援専門職」です。具体的業務は、①府省公募情報の収集・整理、②学内研究者情報の整備、③上記公募情報と研究者とのマッチング、④外部資金申請書作成支援、⑤申請および採択までの支援、⑥申請書書き方教室の開催、等があります。

今後、教員の皆様の要望を踏まえつつ、業務に取り組んでまいります。お気軽に相談・活用されるようお待ちしております。

● 地域共生研究開発センター・スタッフ ●

センター長	鈴木 昇
副センター長	高山 善匡
副センター長	網屋 毅之
副センター長	野本 義弘
イノベーション創成部門長	高山 善匡
副部門長	入江 晃巨
副部門長	東海林健二
コーディネーター	倉山 文男
先端計測分析部門長	松本 太輝
技術専門職員	長谷川和壽
技術専門職員	六本木 誠
産学連携・知的財産部門長	網屋 毅之
副部門長	野本 義弘
共同研究支援室長	網屋 毅之
広報室長	野本 義弘
コーディネーター	桑江 良昇
技術職員	杉山 和寛
URA 室長	鈴木 昇
副室長	桑江 良昇
リサーチ・アドミニストレーター	木村 晃子
リサーチ・アドミニストレーター	大島 昭子
産学官連携サテライトオフィス	
コーディネーター	石原 眞興
コーディネーター	渡邊 和夫

● 連絡先 ●

宇都宮大学 地域共生研究開発センター 広報室

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号  
TEL: 028-689-6316  
FAX: 028-689-6320  
E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp  
URL: http://118.82.78.28/collabo/

イベント情報

○第21回 4u 新技術説明会 (キャラバン隊)

開催日: 平成 27 年 3 月 5 日 (木) 13:30 ~ 16:40  
場 所: 群馬県桐生市民会館 スカイホール B  
参加費: 無料 (交流会は別途)

○第10回宇都宮大学企業交流会

開催日: 平成 27 年 9 月 11 日 (金)  
場 所: マロニエプラザ  
参加費: 無料 (交流会は別途)